

意見書案第 4 号

国民健康保険制度の財政基盤のより一層の強化を求める意見書案

上記の意見書案を次のとおり福岡市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和4年3月25日

福岡市議会

議長 伊藤嘉人様

提出者 福岡市議会議員

堀本わかこ

森あやこ

近藤里美

松尾りつ子

倉元達朗

はしだ和義

田中たかし

国民健康保険制度の財政基盤のより一層の強化を求める意見書

国民健康保険（以下「国保」という。）制度は、それまで各市町村が個別に財政を運営していたものが、2018年度から「都道府県単位化」され、都道府県が主体となり運営するよう変わりました。この制度変更は、被保険者の年齢構成が高く医療費水準が高いことや、所得水準が低いにもかかわらず保険料の負担が重いことといった、国保が抱える構造的な課題を解決するための改革とされ、国保財政を高度に安定させ、持続可能な制度を構築するものとうたわれていました。

しかし、制度変更から4年近くを経過してもなお、構造的な課題の解決には至っておらず、国保財政は引き続き厳しい運営状況であり、国民皆保険制度の重要な柱を担う国保制度ですが、加入世帯の保険料負担は限界に達しています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による国保加入者の所得減少が、国保財政にも影響を及ぼしています。国保財政の悪化は、保険料の更なる引上げにつながります。

よって、福岡市議会は、国会及び政府が、国保への国庫等の公費負担割合の更なる引上げ等により、国保制度の財政基盤のより一層の強化を図られるよう強く要請します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 年 月 日

衆議院議長，参議院議長，内閣総理大臣，財務大臣，
厚生労働大臣 宛て

議長 名